

# 箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
箕面ユネスコ協会事務局  
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20  
みのおキューズモール2Fみのお市民活動  
センター内 箕面ユネスコ協会 (メル・ブックス)  
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



MINOH

## ◆ 目 次 ◆

- 活動報告
- お知らせ

♪ ホームページ折々に更新中!  
「箕面ユネスコ協会」  
で検索してください♡

## ● 第7回箕面ユネスコ協会総会を開催しました

2020年5月9日、第7回の総会を開催しました。

例年は、萱野小学校を会場にお借りし、前年度の活動を参加者のみなさんとともに振り返りながら今後の活動への思いを高める総会になるように努めてきましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症防止のため大幅に規模を縮小しての会になりました。イーチ合同会社のコミュニティーハウス「南の家」を会場に、2019年度2020年度の事業および会計の報告や計画案について慎重に検討していきました。委任状の形で会を成立させて下さった会員のみなさん、ご協力をありがとうございました。

人と人とのつながりを難しくする今回の感染症ですが、臨機応変な対応を工夫していく中で、知恵を絞る楽しさを見出したり、新たな出会いを見つけたりと、前向きな気持ちを大切に、活動を創っていきたいと思います。  
(大濱 淳子)



### 【構成団体会員の皆様へ 佐藤会長からのメッセージ】

まず初めに、このたびの、新型コロナウイルス感染症により、日本のみならず、各国で亡くなられた方々、そして感染された方々に心からお見舞いを申し上げます。また、それぞれの立場で、対応に尽力、努力されている全ての方々に敬意を表します。

2030年を目途に「SDGs：持続可能な開発目標」達成に向け国境を越えた連携と協力が進む矢先、突然このような惨禍に見舞われようとは、誰も予想していませんでした。日々、地域で活動されてきたユネスコ協会・クラブの皆さまにおかれましても、様々な制約のもと、これまでの活動や会合の休止を余儀なくされ、戸惑われているのではないかと思います。

しかし、私たちは、UNESCO 憲章にもある、「よって平和は、失われぬためには、人類の知的及び精神的連帯の上に築かなければならない」という一節を改めて心に刻み、誹謗と対立ではなく、共感と連帯を深めることで、人類は光を見出すことができるのだという希望を胸に前進していきたいと思えます。こうした危機にあっても、私たちは何が出来るのか、するべきなのかを、共に考え、行動に移していこうではありませんか。

すでに、世界寺子屋運動のカンボジアとミャンマーの現場で、新型コロナウイルス対策プログラムを開始いたしました。助けを必要としている人たちと連携しながら、私たち自身が、互いに協力し合うことで、新しい民間ユネスコ運動の新たな道筋が見いだせるものと信じます。

“Stay Positive! Go Forward!” “つねに前向きに進もう!” を合言葉に、互いを信じて、力強く、歩み続けましょう!

2020年5月26日  
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟  
会長 佐藤美樹

# 県外移動解禁 ～八瀬そばボランティア～

2020年6月19日-政府の新型コロナウイルス対策本部は、感染拡大を受けて自粛が要請されていた都道府県境を越える移動の制限を解除しました。

わたしたちは宮城県気仙沼へ…

「八瀬・森の学校」の活動



宮城県気仙沼市西北部、岩手県と接する「八瀬地区」では、地域資源を活かしてそばを生産しています。移転して使われなくなった大正11年に建てられた旧月立小学校の木造校舎で、地域の皆さんが自分たちでつくったそば粉で「そば打ち」を行い、気仙沼を元気にする「八瀬・森の学校」の活動をしています。第3日曜日に月に1度だけの「八瀬・学校そば」が開店します。

この9年間、宮城県気仙沼を中心に、現地でのボランティアを継続している大阪府立北摂つばさ高校生を中心とする「がんばろう！つばさネットワーク」の高校生宿泊の受け入れをしてくださっているのが「八瀬・森の学校」の皆さんです。

箕面ユネスコメンバーが6月21日の八瀬そばのボランティアをしました。気仙沼の地酒「蒼天伝」を代表ブランドとする男山本店の菅原社長ご夫妻とも、偶然、久しぶりにお会いすることができました。菅原昭彦さんは気仙沼の復興に大変尽力され、多くを私たちに教えてくださいました。



蒼天伝の菅原社長ご夫妻と八瀬の学校代表吉田勝彦さんと一緒にハイ！チーズ



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、長引く自粛生活に伴い、生活が一変しました。でも私たちができることは静かに続けていきたいと思っています。

## ○児童養護施設「遙学園」に手作りマスクを届けました！

大阪府三島郡島本町山崎にある児童養護施設「遙学園」は、何らかの事情で、家庭での養育が困難であったりする、2歳から18歳までの子どもたちが生活しています。今回は、遙学園に併設されている児童心理治療施設「ひびき」の高山嘉久施設長にマスクをお渡しできました。

東日本大震災でつながった、宮城県気仙沼の「末子さんと仲間たち」へ生地を提供し、作られたマスクを託された箕面ユネスコ協会のメンバー、浜田和成さんと辻田智子さんが作ったマスクを寄贈しました。

園児や小学校低学年用や大人用、サイズはいろいろですが、子どもたちも、職員の皆さんにも大変喜んでいただきました。



■ 高山嘉久施設長を囲んで（花田 純子 辻田 武幸さん 浜田 和成さん 辻田 智子さん）

### ～ 辻田 智子さんからのメッセージ ～

マスクが、なかなか手に入らない時に、熊本の障がい者地域支援センター「タンポポハウス」を訪ねたおり、手作りマスクをいただきました、これなら、作れると思い、速家に帰ってさっそく作り始めました。

友人やお世話になった看護師さんなど、色々な方にプレゼントする中、「東北の方から子ども用手作りマスクを沢山いただいた」と浜田さんからお話が有り、島本町の花田さんの人脈で、遙学園に私のマスクをたして、100枚程を持って行くことになりました。コロナ渦で、断捨離をして、沢山出て来た、クリアファイルも一緒に持って行くと、大変喜んでいただきました。

後日、お礼のお手紙が有り、子どもたちや職員の皆さんに大変喜んでいただき「アッと言う間に無くなった」のお話を聞いて、お役に立て本当に良かったです。今は、夏用のマスク作りに励んでいます。



（坂口 一美）

## ● 熊本とつながる！緩やかなネットワーク

勝手に！お米寄贈プロジェクト～今できること！

～ NPO 法人たんぽぽハウス「子ども食堂」へお米を寄贈しませんか！ ～



2016年4月14日の熊本地震の支援活動の拠点となったたんぽぽハウスを前号でもご紹介しました。私たちのボランティアも多く受け入れていただいたことがご縁で、箕面ユネスコの今の活動につながっています

障がいのある方や、生活困窮者や生活保護の方、アルコール依存症の方などが通い、加工品などの製造販売を行っています。たんぽぽハウスの別館「ふわり」で、土曜日に無料子ども食堂を運営しています。何か応援したいと思いついたのは、お米の寄贈でした。早速、会員である塩山さん、篠山さんたちから集めていただいた支援

金を託していただきました。ありがとうございます。

## ● 児童養護施設「遙学園」からお手紙届きました★★★



先日は、手作りマスクの寄贈をありがとうございました。ホームに持っていくと、職員も含めてさっさと持って行ってしまいました。デザインがいいマスクを皆求めているんでしょうね。ユネスコや気仙沼のクラブのお話ありがとうございました。困難のあるところに労を厭わず出向いて楽しみながらご支援されている姿勢に感銘を受けました。

## お知らせ

■ コロナ下での活動が制約されていますが、箕面ユネスコとしてできることが何かあればお知らせください。みなさんとともにがんばっていききたいと思います。

■ 今後の活動については、ホームページ上でご案内していきます。よろしくお願いします。



白神山地の麓（鯉ヶ沢）で暮らし、日本ユネスコ協会連盟の特別大使犬（ワンバサダー）として活躍した‘わさお’が6月8日に旅立ちました。陸前高田市や気仙沼市の学校を訪問し被災者を励ます活動にも頑張っていたそうです。長い間、ほんとうにありがとうございました。